



地域おこし協力隊が 三原で過ごす日々

LIFE
13

みはライフ!

市外から移住して来た9人の隊員が、地域課題の解決に向けて活動中!



隊員の活動を動画や 報告資料で発信中!

地域おこし協力隊は、都市部など市外の人材を受け入れ、隊員と地域住民が協力して地域力の維持・強化を図ることを目的とした制度です。

今回、隊員の活動をより多くの人に紹介するために、動画を作成しました。各隊員が現在の活動や今後の目標を熱く語っています。また、それぞれの活動報告資料も作成しているので、動画と併せてぜひご覧ください。

市内では、9人の隊員が久井や大和、佐木島など、市内各地で活動しています。行事やイベントの開催支援や地域産品の開発・販売・プロモーション、空き家・空き店舗の活用、移住者の受け入れ促進など、地域を盛り上げる活動や地域が抱えるさまざまな課題の解決に向けて、地域住民と協力して取り組んでいます。

地域おこし協力隊
の活動は
市公式noteで!



問 地域企画課
TEL 0848-67-6011

動画と
報告書は
こちらから



▲市HP

あんしん通信

事故や犯罪、ゼロカーボンやごみに関する情報など、生活に役立つ情報をお届けします。



※イメージ

令和7年のSNS型投資詐欺 ・SNS型ロマンス詐欺発生状況

●広島県内

発生件数：24件
被害総額：約4億3,723万円

●三原警察署管内

発生件数：0件
被害総額：0円

※令和7年1月～1月末。

今月のポイント

- ☐ 防犯カメラ、センサーライトに補助新設
- ☐ 特殊詐欺防止用の電話機は対象を拡大



◀家庭用防犯カメラ

特殊詐欺防止用
電話機▶



問 生活環境課 TEL 0848-67-6178 FAX 0848-64-4103)

[その7]

家庭の防犯対策に取り組もう!

4月から家庭用防犯カメラや センサーライトの設置費用の一部を補助

4月から始まる市の防犯の取り組みを二つ紹介します。一つ目は、侵入犯罪を未然に防止するための「家庭用防犯カメラ」や「センサーライト」を自宅に設置する費用の一部補助を開始します。**補助額は購入設置費の1/2で、上限は1万円です。**住宅侵入犯罪者の多くは犯行前に「侵入しやすいか」「留守が多いか」など下見を行っています。下見に来た犯罪者に防犯カメラやセンサーライトの存在を知らせることで、侵入前に犯行を諦めさせるという犯罪抑止の効果が期待できます。

二つ目は、特殊詐欺防止用電話機などの**補助対象を75歳以上の世帯から65歳以上の世帯に引き下げます。**特殊詐欺を未然に防ぐためには、自動的に通話内容を録音する機能や、事前に登録していない番号からの着信に対して着信拒否や注意を促す機能がある防犯電話が効果的です。

市の制度を活用し防犯力を高め、犯罪を未然に防いでいきましょう。

今月のコラム
第40回

市長



元気とやさしさ

元気でやさしい
まちをめざします

吹く風が柔らかな季節になりました。進学や就職など、新たな環境で気持ち新しく新年を迎えた皆さんも多いことと思います。

令和7年度予算の概要について、特集を組んでいます(関連2〜7ページ)。当初予算は、市民の皆さんの生活に係るため、思いを込めて編成しています。紙面の都合で、全ての取り組みを掲載できていません。予算の詳細は、施政方針で紹介していますので、ぜひ市公式YouTubeをご覧ください。

施政方針の中で、市を「元気でやさしいまち」にしたいと述べましたが、当初予算はその実現に向けた一歩を大きく踏み出すものとなっています。「元気」は、産業や地域、祭りが元気であること、「やさしい」は、お互いを認め、支え合うということです。実現に向けて、力強く市政を前進させていきたいと思っています。

元気でやさしいまちをつく



▲元気でやさしい三原のまちをイメージして制作したAI画像

るために、市民の皆さんにお願いしたいことは、心身ともに健康で過ごしていただくことです。がん検診を毎年受ける、家族や友人などの身近な人に対して、相手の立場に立った言葉使いを心掛ける・思いやりを持つて接するなど、できることから始めてみましょう。私も、元気でやさしい市長となるべく、日々励みます。みなで三原を良いまちにしていきましょう。



市HP

施政方針演説は
こちらから



ニュージーランド出身の
国際交流員コラム

● Vol.19 ●



CIR (国際交流員)
ジェイク・ロコブ



知ってる?

ニュージーランド

ニュージーランド初のビール醸造

ニュージーランドで最初に造られたビールは、1773年に英国の探検家ジェームズ・クック氏によってダスキー・サウンドフィヨルドで醸造されました。クック氏は乗組員の壞血病を防ぐために、リムやマヌカの葉からビールを造りました。

Information for foreign
nationals in Mihara

＜ CIRが三原の
魅力などを発信中! ＞

Instagram & Facebook



Instagram

Facebook▶



クライストチャーチ市のクラフトビール

ニュージーランドクラフトビールを楽しむ

ニュージーランドのお酒といえばワインをイメージするかもしれませんが、国内で最も消費されているのはビールです。

ニュージーランドには約200カ所のビール醸造所があり、国内で消費されるビールの約85%が醸造されています。

毎年8月にウェリントン市で開催される「Beervana」が国内最大のビール祭りです。市の姉妹都市・パーマーストーン市でも5月に「Brew Day」が開催されるなど、各地で地域の醸造所が造るクラフトビールが楽しめるイベントが開催されます。イベントがない日でもビール醸造所を訪れ、ロースト風味のスタウトビールやホップのもつ香りや苦味のあるIPAビール、フルーティーな香りのする香り豊かなピルスナーなど、さまざまな種類の味を体験できます。

●多言語相談窓口(市役所本庁4階)

問 経営企画課(TEL 0848-67-6270 FAX 0848-64-7101)